

<連絡事項>

◆例会臨時変更

松戸西ロータリークラブ 2月18日(水)・・・2月22日(日) 地区大会に振替

◆地区大会ご案内及び注意事項

受付

- ・受付は分区・クラブ毎になっております。各クラブの代表者は受付にて名札とプログラムを一括してお受け取り下さい。
- ・パストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長、地区委員は、それぞれ別の受付を用意しております。当該の受付にお立ち寄り下さい。
- ・選挙人は、ご出欠を確認させていただきますので、第1日目の「選挙人信任状受付」にて「地区大会信任状証明書」の正本をご提出ください。

表彰

- ・第1日目はクラブ表彰です。受賞クラブの代表者はクラブ名を発表されましたらご起立をお願い致します。ご起立後ご着席下さい。
- ・第2日目は個人表彰です。対象受賞者全員のお名前をスクリーンにてご紹介させていただきます。個々のお名前の紹介は致しません。
- ・表彰状の授与は、時間の関係上、第1日目、第2日目両日とも代表者一名とさせていただきます。
- ・表彰状は後日クラブ事務局宛お送り致しますので、クラブ例会にて受賞者にお渡しください。

昼食

- ・2日目のお弁当は受付カウンターにてクラブ毎纏めてお渡し致します。クラブ代表の方が受付カウンターまでお越しください。なお、今回は昼食時の酒類提供はございません。最後の懇親会をお楽しみ下さい。

<ニコニコ委員会：野村 充委員>

齋藤和實会員：結婚記念日のお祝いをいただき有難うございました。2月8日で結婚して52年になります、二人共元気で過ごしています。年齢は二人合わせて148才になりました。これからも健康でいたいと思います。



森谷充伯会員：お祝いありがとうございます。53才です。家庭を大切に頑張ります。

出席・親睦活動委員会：1月27日夕刻より上半期の反省会を含め、後半の活動に向けてのミーティングを開催させていただきました。当日は有志での参加でしたので、参加費が少々残りました。北クラブ会員皆様のお力添えもあり、無事に幾つかの予定を終えられた事に感謝し委員会よりニコニコさせていただきます。

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2046回 例会 2015年2月10日(火)

- 国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン ■例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 宇佐見 透 ■例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 びわ亭
- 第12分区ガバナー補佐 高崎 信昭 ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- 松戸北ロータリークラブ会長 崎谷 延好 ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 大川 隆永 ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第2046回：例会プログラム>

- 12:30 点鐘 崎谷延好会長
ロータリーソング斉唱
【♪奉仕の理想】
- 12:33 お客様紹介 小澤盛明会長エレクト
- 12:35 会食
- 13:00 例会再開
会長挨拶・報告 崎谷延好会長
幹事報告 大川隆永幹事
- 13:25 【委員会報告】
- 社会奉仕委員会
社会奉仕基金発表 平田洋一委員長
本日のニコニコ発表 三村藤明委員長
 - ニコニコ委員会
- 13:30 点鐘 崎谷延好会長



<会長挨拶・報告：崎谷延好会長>

皆さんこんにちは。

今日はプログラムの時間があるようですから、私の業界のことを織り込んでお話ししたいと思います。

かつて業界で大変な勢力を持ったピアノ量販店がありました。全国に15店舗はあったと記憶しております。その販売店がY社のピアノを30から40%OFFとの広告を出します。一般の消費者は飛びつくように来店するのですが、店側は故意にY社の製品を整備不良の状態にしておき、自社のオリジナル商品を客に勧める販売パターンを繰り返して行っていました。

いつしかY社に知れ、一般の主婦を装ったY社の社員にその販売説明を録音されます。それを証拠に損害賠償の訴えを起こされ、完全に負けると察知して計画倒産をしたという逸話があります。

専門業者が素人を騙すことは容易な事です。ピアノの事には精通している私でもくるまの事には全くの素人です。その時接した全てのプロが適切な説明と誠意ある対応でいてくれたなら、もっと暮らし安い世の中が築けるのではないのでしょうか。

これ正に職業奉仕の信念、そのものと考えております。



■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■
このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

WEEKLY REPORT

<感謝状>



感謝状
吉田俊一殿

貴殿は当クラブの東日本大震災被災者支援活動に深い御理解を示され、この度当クラブに多額の御寄附を賜りました。よってここにその御厚意に対し深く感謝の意を表します。

二〇一五年二月十日
国際ロータリー第二七九〇地区
松戸北ロータリークラブ
二〇一四―二〇一五年度
会長 崎谷延好

<挨拶：吉田俊一会員>

この度は過分なご対応して頂きありがとうございました。私もこの6月で80歳になります。親父は93歳で亡くなり、考えると私も残された時間もあまりない様な気がします。

同級生も少なくなり、ゴルフをする人も減って、集まると病気の話題ばかりです。

皆さん朝のテレビ小説見えていますか？ニッカを作ったマッサンの話です。サントリーを作った鴨井の大将の息子が親を批判しながらも結局親の真似をしています。私も親を批判しながら大きくなって、今考えると真似をしてきたなと思います。

先日の小林弘会員のニコニコのコメントで“人生下り坂が面白い。”という言葉に感銘を受けました。残された時間の中で私に何が出来るか考えました。拘束されない時間を持ち、社会的な責任もなくなり、子育ても終わりました。僅かながら資産はあります。しかしながら自由があるという事は全ての責任も自分にあるという事でもあります。

若い会員の皆さん、30年経ったら思い出してください。人間何かわかっているつもりでも実際その歳になってみないと解らないものです。3.11で子供を失った親の気持ちなど誰にもわからないと思います。年々乏しくなってくる行動力のなかで今自分にできる事と思い、この度寄付をさせて頂きました。宜しく願い致します。

